

内谷市長の

ゆるやかコラム

「新たな取り組みへの挑戦」

去る5月18日に行われたながい黒獅子まつりには、たくさんの皆様にお越しいただき、大変な賑わいの中開催することができました。黒獅子の勇壮な舞は何度見ても感動を覚えます。昼祭りでは「長井の心」地域文化発表会として、長井、平野、豊田の各小学校による獅子踊りや黒獅子舞も披露され、その完成度の高さに驚くとともに、こどもたちに地域の文化が受け継がれていることをうれしく思いました。

今年の黒獅子まつりには、アルカディア観光局が企画したツアーにより、アメリカから観光客の皆さんがお越しくださいました。また昨年度、「ながいの未来を育む少年会議」で中高生から提案があつた、「黒獅子にちなんだ食べ物の販売」として、事業者さんの協力のもと「黒獅子氷」や「黒獅子肉まん」などが販売され、提案を実現へ結びつけることができました。これからあやめまつりや水まつり、70周年記念事業など様々なイベントが行われます。工夫やアイデアを取り入れ、笑顔あふれる長井市を目指し取り組んでまいりますので、ふるってご参加ください。



▲黒獅子まつりでの小学生による獅子踊り



▲軟骨電動イヤホン導入記者説明会の様子

さて、市では4月に「長井市手話言語及び障がいの特性に応じたコミュニケーション」手段の利用促進に関する条例を制定し、誰ひとり取り残さない共生社会の実現に向けた取り組みを進めています。現在市の窓口には、聞こえに不安のある方や外国籍の方などの会話のサポートとして、話した言葉を認識し音声を表示させる「コトバット」と、耳の軟骨を振動させることで音を感じる仕組みを利用した「軟骨伝導イヤホン」を設置しています。皆さんが不安なく相談や手続きができるよう、利用しやすい市役所を今後とも目指してまいります。

